

平成29年度 学校評価結果報告書

兵庫県立芦屋特別支援学校

1 本年度の学校評価の手続きについて

校長の学校経営方針にもとづき、本年度の評価項目を設定した。そして、各評価項目に関係する各分掌（校務部・学部・委員会等）で、昨年度の総括を踏まえ、本年度の実践目標を策定した。それらの実践目標について6月の第1回学校評価委員会で協議し、学校自己評価は職員全員で評価することを確認した上で、1つの評価項目で1つの実践目標を設定し、評価ができるよう再度、実践目標を各分掌で見直すことにした。そのような経緯を踏まえ、本年度の4領域34の評価項目について実践目標ができあがった。

保護者アンケート、地域アンケートについては、10月の第2回学校評価委員会で協議した。保護者アンケートの内容については、基本的な評価項目は変更せず、より答えやすくなるように語句の修正等を行った。また、地域アンケートについても、評価項目は変更はせず、昨年度と同じ内容で実施することにした。そして、12月に学校自己評価、1月に学校評価に係る保護者アンケート（本校・砂子訪問学級）及び地域アンケートを実施した。

その後、学校自己評価及び各アンケート結果を踏まえ、各分掌（校務部・学部・委員会）で、総括（成果及び課題と改善策の策定）を行い、2月の第3回学校評価委員会で確認を行った。本年度の学校自己評価及び総括を踏まえ、3月に学校関係者評価を実施し、本年度の学校評価結果について県教育委員会事務局に報告した。

2 学校自己評価結果について

評価がCの評価項目が1つあったが、それ以外の評価項目については評価がAまたはBであり、概ね本年度の実践目標は達成できた。その中で、昨年度に続いて評価がAの評価項目が6項目あり、学校からの情報提供や学校と家庭との連携・協力、心肺蘇生法やAED講習会、熱中症や感染症対策等を通じて安全意識や危機管理意識が高まっていると職員は判断している。

また、評価項目25の校内、校外における合理的配慮の提供については、本年度の実践目標の評価が昨年度のCよりBに向上しており、合理的配慮の提供に対する職員の意識や取組が向上していることがうかがえる。

また、評価が昨年度より下がった評価項目について、AからBに下がった項目は11項目あり、それぞれの分掌で実践目標の達成状況について分析を行い、次年度に向けた課題と改善策を総括欄に明記している。評価がBからCに下がった項目は評価項目20の専門性向上と課題解決をめざす研修体制を充実させるという実践目標である。改善策としての職員の意見の中に、「専門性強化のための研修と校内研修が連動する形になると良い。」、「公開授業（研究授業）をしてもほとんど見に行けないので時間割の調整と動員をかけることが必要。」、「研究研修で学んだことを現場が違い、応用がほとんどできていないので、より実践的な研究研修が必要。」といった意見が出されたので、これらの意見を参考にして、次年度の実践目標の検討につなげたい。

3 各種アンケート結果について

保護者アンケートについては、22項目の評価項目について、評価がAまたはBであり、概ね良好な評価結果を得た。特に評価項目22の「お子さまは明るく元気に学校生活を送ることができていましたか」という項目は評価平均が3.7で一番高い評価を得ている。しかし、評価項目12の「小・中・高が連携し、一貫した指導が行われていると思われませんか」、評価項目18の「お子さまの希望や特性に応じた進路指導を進めるために、地域・家庭及び福祉・労働等の関係機関と連携し、必要な取組を行うことができていたか」については、評価平均が他の評価項目より低くなっていた。

また、記述式の保護者のご意見・ご感想については、たくさんのご意見・ご感想をいただいた。その中で、小学部は学校行事に関するご意見、中学部は通学に関するご意見、高等部はパソコンやiPadを活用した授業や進路指導に関するご意見・ご感想が多く見られた。これらのご意見・ご感想を参考にして、次年度の取組につなげていきたい。

砂子訪問学級については、本年度、在籍者数が大幅に減少したが、全ての評価項目がAまたはBであり、概ね良好な評価結果を得た。

地域アンケートについては、昨年度と同じ評価項目の評価が低くなっている。評価項目5の開かれた学校づくりについては、評価が昨年度のCからBに向上したが、地域への情報提供に関する各評価項目は依然として評価が低くなっており、今後も課題として継続して取り組む必要がある。

4 学校関係者評価について

学校関係者評価では、学校自己評価の各領域ごとに評価を実施したが、全ての領域において学校自己評価及び総括（成果及び課題と改善策）は適切であるとの評価を得た。また、学校関係者評価では、次のご意見もいただいた。これらのご意見も参考にして、次年度の学校自己評価項目を検討したい。

- ・今後も芦屋特別支援学校の役割や活動について、関係する人達にPRして理解を深めていきたい。
- ・学校現場を取り巻くめまぐるしい変化に対応していくことは、本当に大変なことだと思う。その変化の中で、主体となるべき子ども達一人一人が取り残されることのないように願っている。保護者アンケートでは、概ね高評価となっているが、学校への不満をもっている保護者も少なからずいる。個々の特性に応じた対応、合理的配慮の提供をお願いしたい。
- ・いつも丁寧な支援に感謝している。芦カフェなど就労支援にも積極的に動かれ、いつも助かっている。
- ・分かって動ける授業という観点は、先生方の中で少しずつ浸透してきているのではないかと思う。先日の音楽の授業は、「音楽」という教科のせいもあるが、全員が活動していた。大事な観点だと思う。
- ・評価がA～Bで先生方が頑張っている様子を感じ取れる。HPも時々見ているので、今後もしろいろな情報を発信してほしい。